

10月号他ページの主な記事
2面 東日本大震災 災害義援金第二回報告
3面 本山奉仕青年の部を実施、5支・東京房総布 弘通促進大会を開催
4面 特集：東日本大震災 新盆回向法要を厳修
5面
6面 このよこぎをあなたとともに フィリピンご弘通の経過③
7面 5支・東京中央布 婦人会の教養大会、1支・京都布 24時間口唱会のお知らせ
8面 <仏教講話に学ぶ> 佛立信者の人生観⑥、百万霊会奉納者氏名

本門佛立宗機関紙

佛立新聞 THE BUTSURYU SHIMBUN

平成23年10月1日発行

発行所 本門佛立宗宗務本庁
京都市上京区御前通一条上る東堅町110番地(〒602-8377)
電話 (075)461-1166(代)
振込口座 京都 18650
発行人 藤本日浦 / 編集人 橋口清遠

購読料加料 一部50円

55 第14回見習教務養成所を実施
教務員増加誓願の成就めざし12名が加行



4日間の厳しいプログラムを終え勤行証を手に記念写真に収まる

門祖五五〇誓願のひとつである教務員増加をめざし、昨年度に引き続き「見習教務養成所」(通算第十四回)が、去る八月五日から八日までの三日四日にわたって本山宥清寺で開設され、全国寺院から十二名が参加・加行した。

【第一日目】
緊張に包まれる中、本山宥清寺本堂にて開所式を執行。前回同様、期間中参加者には改良服とタスキを着用いただくこととしており、長谷川弘通局長から激励とともに参加者一人ひとりにタスキが手渡された。

【第二日目】
例の如く早朝からの清掃と晨朝勤行に出仕。この日の午前・午後は佛立史跡参観と題し、開導聖人御墓所、西行庵、開講聖地、誕生寺、長松寺。さらに門祖聖人のご奉公によりて創建された本能寺(法華宗本門流)。日像菩薩を開基と仰ぎ、門祖聖人が六剣士のご法難に遭われた妙蓮寺(本門法華宗)等、当宗と歴史の因縁の深い京都市内の寺院や史跡を巡った。

【第三日目】
閉所式ではお経に続いて参加者に勤行証が授けられ、講上人からは「得度され教務員になられた皆さんと本山宥清寺で再会できることを楽しみにしています」とのお言葉を頂戴した。最後に参加者を代表して四国布教区・高松妙泉寺所属・丸山開世氏が御礼の言葉を述べ、第十四回見習教務養成所は無事にすべての日程を終了した。



奥順作さん宅でのお助行を無事に終えて

【第四日目・最終日】
早朝からの清掃と晨朝勤行に出仕。期間中最後の講義として講上人からの講話についてご講話を賜った。質疑応答では、講義内容に限定せず多種多様な質問にも応えられ、さらに参加者との記念撮影にも快く応じてくださった。随喜と感動で涙する参加者も見られた。

【第五日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第六日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第七日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第八日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第九日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十一日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十二日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十三日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十四日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十五日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十六日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十七日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十八日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第十九日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第二十日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第二十一日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第二十二日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第二十三日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第二十四日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

【第二十五日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖

来る10月9日 本山高祖会奉修
京都・本山宥清寺では、来る十月九日(日曜日)、午前七時より午後二時まで、四座にわたり、高祖日蓮大菩薩御会式が奉修される。高祖日蓮大菩薩は、建長五年の立教開宗以来、上行所伝の御題目を、末法の私たちにお残し下さるために、大難四カ度小難教を知らずの捨身弘法遊ばされ、弘安五年十月十三日、ご入滅になられた。宗門では本山と各寺院で大恩報謝のため盛大に御会式を奉修する。本山高祖会には、地元京都のご信者ばかりでなく、宗令に定められた当番参詣の支庁の各寺院をはじめ、全国からの多数の参詣者で賑わう。

Table with 3 columns: 法座, 奉修時間, 奉修導師. Rows include 第一座, 第二座, 第三座, 第四座.

東日本大震災 義援金二億円を超える(8月末現在)
引き続きご協力をお願いします
ありがとうございます。この度の東日本大震災では、全国各寺院・教会の皆様より、心温まる義援金のご協力をいただきました。募金のお協力をいただきありがとうございます。八月三十一日現在で、二億〇五〇一万五三三〇円もの義援金を宗務本庁にお寄せいただきました。

10月のよみ
14日 鉄道記念日
15日 門祖日隆大聖人御誕生
高祖御入滅後、百四年目にあたる、至徳二年(一三八五)十月十四日、高祖のみ教えを清らかな法水に戻すべく、富山県射水郡浅井郷島村に産声をあげられました。父君は桃井尚儀公、母君は桃井益子。

一言
今年の夏期参詣の御法門は、宗風の実践がテーマであったが、その中「喜捨」という項目があった。これは「喜んで、すすんで捧げる」というご奉公の精神を示したものである。平成八年に脳卒中で倒れ、同十三年には十二指腸の病で生死をさまよわれた映画監督の大島渚氏。その都度、夫人の女優・小山明子さんが献身的な介護にあたられていたが、二度目の時は女優業を辞めての介護であったという。平成十一年、「市長のかわりはなんぼでもありますが、夫のかわりはおれません」という名言を残したのが大阪高槻市の元市長・江村利雄氏。奥さんの介護を理由に市長のポジションを退職。当時、この江村市長の行動は大きな話題を呼んだが、氏は「ハチャメチャな介護だが、妻が喜ぶことを忠実に実行したい」と語る。また小山さんの著書「小山明子のしあわせ日和」には次のような一節がある。『縁あって夫婦になったのですから、最後まで心を通わせてきちんと添い遂げたい』。お二人とも、喜んで、すすんで、恩にきせることなく、自身を捨てて、ご主人や奥さんに接しられている。小山さんはその本の最後で「仏教の『喜捨』の精神で夫に尽くしたい」と、その思いを語られているが、何だか「喜捨」ということについて、財の「ご奉公の心得のみならず、その精神の尊さを深く学ばさせられたような気がする」。

【第二十六日目】
あるなど、参加者が一体となり互いに支え励まし合ってプログラムに取り組んだことがうかがえる。参加者には今後、所属の各寺院において今回の経験を活かし、さらなる信心増進に努められ、やがて発心して出家得度を志していただければ、これほどありがたいことはない。また今回の経験を周囲の方々に伝え、門祖